平成 24 年 1 月 12 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 23 年 12 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 23 年 12 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	51	55.5%	△30.1%	△61.2%
半導体分野	35	38.4%	△0.5%	△20.0%
太陽電池分野	0	0.0%	―	―
その他	5	6.1%	233.8%	100.3%
合計	92	100.0%	△16.8%	△48.7%

２.月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
ＦＰＤ分野	105	55	※91	※135	※144	156
半導体分野	52	99	51	30	※35	35
太陽電池分野	7	11	5	0	0	0
その他	2	2	1	2	0	1
合計	168	170	※148	※168	※181	194

区分	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
ＦＰＤ分野	188	159	168	113	71	51
半導体分野	28	34	21	46	35	35
太陽電池分野	0	0	0	1	0	0
その他	0	2	0	1	1	5
合計	217	196	191	162	109	92

※四半期決算処理に伴う修正を行いました。

３．月次受注残高の概況

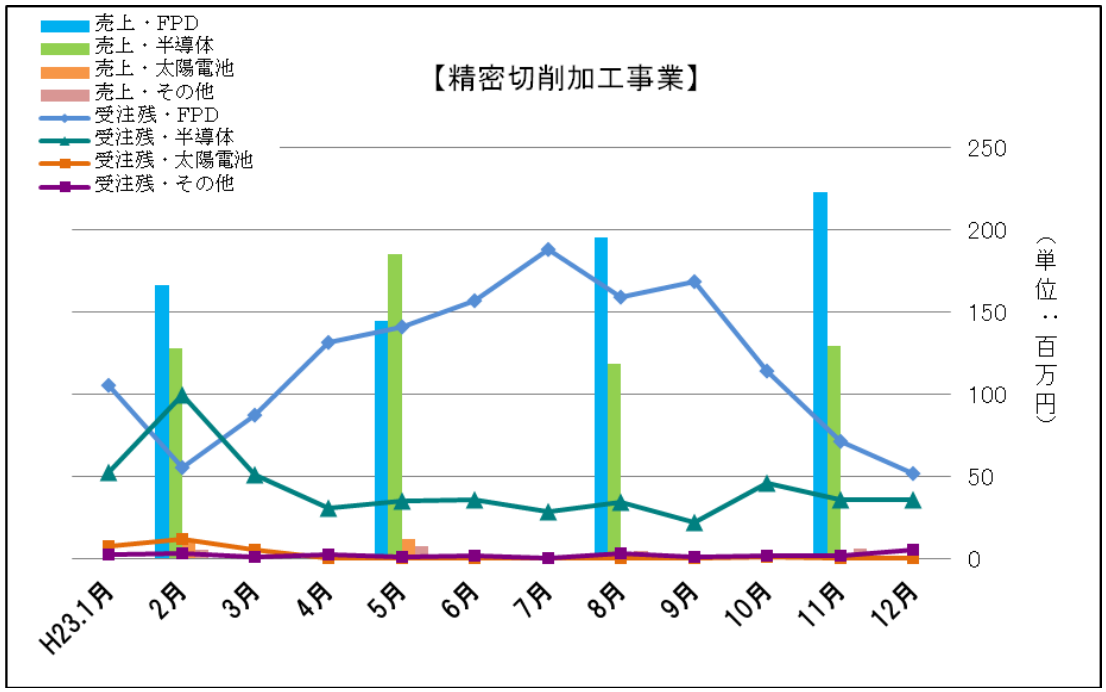
平成 23 年 12 月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において、中小型製造装置部品の受注が山を越えて一時停滞していることにより、対前月増減率で 30.1%減、対前年同月増減率では 61.2%減の 51 百万円となりました。また、半導体分野においては、市場環境に回復傾向はありながらも、いぜん低調であることから対前月増減率 0.5%減、対前年同月増減率 20.0%減の 35 百万円となりました。一方、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、対前月増減率 16.8%減、対前年同月増減率 48.7%減の 92 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、第３四半期以降に中国の天馬向け設備投資に関連した受注が見込まれておりますが、全般的に案件数が薄く受注の停滞傾向が続く見通しであります。半導体分野においては、足元では一部メーカーの設備投資に頼っている状況ですが、今後は在庫調整の進展に伴い設備投資は回復傾向が出始めるとの見通しを持っております。太陽電池分野においては、散発的な受注が見込まれる状況であります。また、その他分野で原子力関係等の受注増加が見込まれております。

全般的には、市場環境が悪化しておりますが、当社では消耗品受注の品種拡大や試作品受注の拡大で受注維持を図る方針です。また、協力企業との取引拡大や短納期対応力の向上など、市場環境の影響を受けにくい施策に取り組んでまいります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。